

研修No. 26

2022年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3 月 31日
研究・研修課題名	小児薬物療法認定薬剤師の新規認定取得のための研修会受講および学会への参加
研究・研修組織名(所属)	島根大学医学部附属病院(薬剤部)
研究・研修責任者名(所属)	北郷 真史(薬剤部)
研究・研修実施者名(所属)	北郷 真史、山崎 健太(薬剤部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	北郷 真史、山崎 健太(薬剤部)
学会名(会期・場所)、認定名等	会名：日本薬剤師研修センター小児薬物療法研修会 会期：2022年7月1日～2023年2月28日(北郷真史) 会名：第49回日本小児臨床薬理学会学術集会(ハイブリッド開催) 会期：2022年11月4日～11月5日(北郷真史、山崎健太) 認定名：小児薬物療法認定薬剤師
演題名・認証交付元等	日本小児臨床薬理学会
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

① 目的

当院の小児科では、多くの患児を対象に小児入院医療管理料を算定しているが、2022年度の診療報酬改定では、小児入院医療管理料 退院時薬剤情報管理指導連携加算が新設され、また小児入院医療管理料を算定する病棟においても病棟薬剤業務実施加算を算定可能になった。患児やその家族への服薬支援や薬学的管理を実践する上で、高度な専門性を有する薬剤師がますます求められている。加えて当院では2021年4月より総合周産期母子医療センターが稼働し、新生児や小児領域における高度な知識や技能を有する薬剤師の育成は必要不可欠である。薬剤師の小児領域における認定資格には、日本小児臨床薬理学会と日本薬剤師研修センターが認定する小児薬物療法認定薬剤師があるが、当院の認定取得者は、退職により0名である。

そこで、小児薬物療法認定薬剤師の新規取得を目的として、必須要件である小児薬物療法研修会を受講し、認定試験を受験するとともに、第49回日本小児臨床薬理学会に参加し、知識・技能の向上を図る。

② 方法

小児薬物療法認定薬剤師の新規取得に必須である小児薬物療法研修会を受講し、認定試験を受験する。さらに、第49回日本小児臨床薬理学会学術集会へ参加し、認定の新規取得を目指すとともに、研鑽した内容を当院における小児薬物療法や病棟薬剤師業務に活用する。

③ 成果

申請者1名(北郷真史)が小児薬物療法研修会を受講し、小児薬物療法認定薬剤師の試験受験の資格を取得した。認定試験は2023年5月実施予定であり、受験予定である。また、申請者2名は第49回日本小児臨床薬理学会に参加し、単位取得ならびに認定要件の一つである学会内容に関するレポート提出を行った。申請者はNICU・GCUでの病棟薬剤業務を担当している。上記研修会、学会に参加することで、新生児領域という特殊分野における最新の知見や現状の問題点など、多くの知識を得ることができた。その知識を病棟薬剤業務に活用していくとともに、今後も継続して研鑽していくことで、資格の取得および、当院での新生児薬物療法に貢献していく予定である。